

横浜市地球温暖化対策計画書制度

計画書等作成マニュアル

【3号該当事業者用】

2026年度計画書作成事業者用

横浜市脱炭素・GREEN×EXPO推進局脱炭素マネジメント課

目次

第1章 作成の概要	1
1.1 作成する書類	1
1.2 作成の流れ	2
1.3 各シートの説明	3
第2章 根拠算定資料の作成	4
2.1 車両台数の入力	4
2.2 走行台数、距離、燃料補給量の入力	6
2.3 二酸化炭素排出量等の確認	8
第3章 計画書の作成	10
第4章 提出書の作成	24
第5章 評価の確認	24
第6章 作成したデータ等の提出	26

第1章 作成の概要

このマニュアルでは、地球温暖化対策計画書(計画書)等の作成方法、提出方法を御紹介いたします。計画書や報告書の提出は、条例※に定められた義務です。期日(7月末)までの作成、提出をお願いいたします。

※:横浜市生活環境の保全等に関する条例

1.1 作成する書類

■ 提出様式(「2026keikaku_youshiki.xlsx」)

■ シートの構成

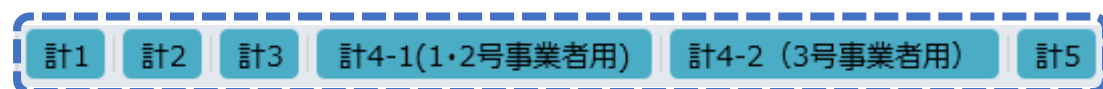
根拠算定資料

※『使用量_1, 2』シート、『外部供給』シート、『ガス会社』シート、『熱供給会社』シートは使用しません。(第3号該当のみの事業者)



計画書(計画期間:2025~2027年度)

※『計4-1(1・2号事業者用)』シート、『計5』シートは使用しません。(第3号該当のみの事業者)



『計5』シートより右側のシートは記入不要です。



各シートの記入が完了すると入力された内容を反映した提出書と計画書の内容に基づく評価結果が表示されます。

1.2 作成の流れ

提出様式をダウンロードする。

根拠算定資料 を作成





排出量等の算定根拠を作成するため、
事業所別にエネルギー使用状況等を記入する。

計画書に自動で数値が反映

計画書 を作成



根拠算定資料から反映された値・内容を確認しながら、
状況・説明等を記入する。

■ 様式への入力ルール(セルの色分け)

	(黄色)	記入してください
	(白色)	昨年度情報や根拠算定結果が自動表示されます(参照式設定) セルに保護をかけているため書き換えはできません
	(緑色)	昨年度情報や根拠算定結果が自動表示されます(参照式設定) 変更がある場合は上書き修正してください
	(灰色)	記入対象外です

【注 意】

緑色のセルには参照式が入っています。
一度、新しい値を入力すると参照式は消え、
新しく入力した値に置き換わります。
入力値を消しても、前の値(参照式)には戻りません。

自動計算等を行う際に支障を来してしまうため、 (黄色)セル及び  (緑色)セルに数値等を入力する際は、絶対に切り取り操作(CTRL+X)は行わないようお願いします

1.3 各シートの説明

シート名	シートの概要
はじめに	※作業不要です
使用量_3	車両の走行距離及びエネルギー使用量を入力して、CO2排出量、エネルギー消費原単位を算定します
電力会社	小売電気事業者を検索して、排出係数を調べます(入力不要)
係数	燃料などの排出係数等を変更する場合のみ 使用します

シート名	項目
計1	1 地球温暖化対策事業者等の概要 2 計画期間 3 温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針
計2	4 公表の方法 5の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等
計3	6 クレジット等の取組状況及び計画 7 設備の新設、更新等の計画 8 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の導入状況及び計画
計4-2	9の3 基本対策の実施状況及び計画 9の4 重点対策の実施状況及び計画

第2章 根拠算定資料の作成

※『はじめに』シートは作業不要です。

2.1 車両台数の入力

『使用量 3』シート

1 横浜市内における 2025年度の車両台数

1 横浜市内における2025年度の車両台数		2026年度提出用(2025年度実績値)				
横浜市内	① 2024年度	②	③-1	④-1	④-2	⑤
	年度末所有車両		継続台数	走行あり①	走行なし	年度末所有車両
	95 台		95 台	95 台	0 台	100 台
	新規台数		減車台数	走行あり②	走行なし	走行台数
	5 台		0 台	台	0 台	100 台
	継続台数		減車台数	走行あり③	走行なし	0 台
	5 台		0 台	5 台	0 台	0 台
	0 台		0 台	走行あり④	走行なし	0 台
	5 台		0 台	台	0 台	0 台
	0 台		0 台	走行あり⑤	走行なし	0 台
(参考) 軽自動車	③-2	⑦	年度末所有車両 (軽自動車)	20 台		

1 横浜市内における 2025年度の車両台数

① 2024 年度の年度末所有車両

2024 年度末(3 月末日)の所有車両の台数を入力してください。

② 新規台数

2025 年度に新規に導入した車両の台数を入力してください。

③ 継続台数・減車台数

③-1 ①で入力した 2024 年度末の所有車両台数のうち、減車台数を入力してください。継続台数は自動計算されます。

③-2 ②で入力した新規台数のうち、減車台数を入力してください。継続台数は自動計算されます。

④ 2025 年度の走行有無

④-1 ③-1、③-2 で入力・表示された台数のうち、2024 年度に走行した車両の台数を入力してください。

④-2 2025 年度に走行しなかった車両の台数が自動計算されます。

⑤ 2025 年度の年度末所有車両

③-1、③-2 で自動計算された継続台数の合計値が表示されます。

⑥ 2025 年度の走行台数

④-1 で入力した、2025 年度に走行した車両台数の合計値が表示されます。

⑦ 2025 年度の年度末所有車両(軽自動車)

2025 年度の年度末時点で所有している軽自動車の台数を入力してください。

2.2 走行台数、距離、燃料補給量の入力

『使用量3』シート及び『電力会社』シート

【注 意】

単位に注意してください。

2 2025年度に走行した車両の走行距離

『使用量3』シート

2025年度に走行した車両の走行距離									
注意:2025年度中に減車(廃止)した車両(走行あり)を含みます。									
燃料の種類	走行台数(台/年)	走行距離(km/年) (a)	燃料補給量(リットル/年) (b)	燃費(km/リットル) (a÷b)					
ガソリン	8	240,000	20,000	L	12.0000 km/L				
軽油				L	km/L				
天然ガス	2	60,000	10,000	m	6.0000 km/m				
LPG				L	km/L				
水素				kg	km/kg				
バイオエタノール				L	km/L				
バイオディーゼル				L	km/L				
電気	2	60,000	10000	kWh	6.0000 km/kWh				
電気				kWh	km/kWh				
電気				kWh	km/kWh				
電気				kWh	km/kWh				
電気				kWh	km/kWh				
合計	12	360,000							
走行台数(検査用)	12								

『電力会社』シート

電気事業者名	基礎 排出係数 (t-CO2/kWh)	調整後 排出係数 (t-CO2/kWh)
A0002 ーレックス(株)	0.000483	0.000441
A0003 リエスパワー(株)	0.000463	0.000000
A0004_メニューA エバーグリーン・リテイリング(株)	0.000492	0.000000
A0004_メニューB(残差) エバーグリーン・リテイリング(株)	0.000492	0.000437
A0004(参考値)事業者全体 エバーグリーン・リテイリング(株)	0.000492	0.000436
A0006_メニューA エバーグリーン・マーケティング(株)	0.000354	0.000000
A0006_メニューB(残差) エバーグリーン・マーケティング(株)	0.000354	0.000441
A0006(参考値)事業者全体 エバーグリーン・マーケティング(株)	0.000354	0.000392
A0007 株式会社Eウィングス	0.000257	0.000372
A0008 イーセル	0.000481	0.000426
A0008_メニューA 株江ネット	0.000405	0.000000
A0008_メニューB 株江ネット	0.000405	0.000000
A0008_メニューC 株江ネット	0.000405	0.000300
A0008_メニューD 株江ネット	0.000405	0.000349
A0008_メニューE 株江ネット	0.000405	0.000370
A0008_メニューF(残差) 株江ネット	0.000405	0.000367
A0009(参考値)事業者全体 株江ネット	0.000405	0.000325
A0011_メニューA 両賀川瓦斯(株)	0.000408	0.000000
A0011_メニューB(残差) 両賀川瓦斯(株)	0.000408	0.000418
A0011(参考値)事業者全体 両賀川瓦斯(株)	0.000408	0.000417
A0012_メニューA 出光興産(株)	0.000302	0.000000
A0012_メニューB 出光興産(株)	0.000302	0.000000
A0012_メニューC 出光興産(株)	0.000302	0.000199
A0012_メニューD(残差) 出光興産(株)	0.000302	0.000476
A0012(参考値)事業者全体 出光興産(株)	0.000302	0.000470
A0013_メニューA 株式会社オプテージ	0.000500	0.000000

【間違いやすいポイント】

同じ電力会社でも電力メニューは多岐にわたります。
 一般的な契約プランの場合は、「(残差)」と記載される電力メニューを選択してください。
 CO2フリーメニュー(排出係数0)にて調達した電力については、適合するメニュー(赤字緑色セルにて表示)を選択してください。

2 2025 年度に走行した車両の走行距離

※注意:2025 年度中に減車(廃止)した車両(走行あり)を含みます。

- ① 2025 年度の「走行台数」を、燃料の種類ごとにまとめて入力してください。
- ② 2025 年度に走行した車両の「走行距離」を、燃料の種類ごとにまとめて入力してください。
- ③ 2025 年度に走行した車両の「燃料補給量」を、燃料の種類ごとにまとめて入力してください。
- ④-1 『電力会社』シートで、購入先電力会社(メニューがある場合はメニュー別)を検索し、「登録番号+メニュー」をコピーしてください。
車両の充電に使用した電力会社が不明な場合には「代替値」を選択してください。
- ④-2 ④-1 でコピーした文字列を『使用量 3』シートの「登録番号+メニュー」欄に貼り付けてください。
- ④-3 電気事業者の選び出しには、オートフィルター機能を使用して検索してください。
詳しい方法は、『電力会社』シートに記載していますので、ご参照ください。
- ⑤ 「走行台数」、「走行距離」、「電気の使用量」を、電力会社ごとにまとめて入力してください。
- ⑥ ①で入力した「走行台数」の合計値と、前項⑤の「2025 年度の走行台数」が表示されますので、台数が一致するか確認してください。

2.3 二酸化炭素排出量等の確認

『使用量 3』シート

3 2025 年度の二酸化炭素排出量等

3 2025年度の二酸化炭素排出量等						
実績値	二酸化炭素排出の 合計量 (tCO2)		エネルギー消費量の 合計値 (k)	エネルギー消費原単位の指標		エネルギー消費原単位 (kl/★) (有効数字四桁)
	基礎	調整後		走行距離 量	単位★ 千km	
	残差等	78	76			32

①

②

排出係数等を変更する場合

『係数』シート

排出係数の設定															
1 基礎情報 ※標準の設定から変更する場合															
(1) 排出係数と、電気の発熱量の設定(標準の設定から変更する場合)															
エネルギーの種類	単位発熱量		排出係数				CO ₂ 換算								
	単位	分母単位	基礎	調整後	基礎(残差)	調整後(残差)	単位	基礎	調整後	基礎(残差)	調整後(残差)	単位			
燃料	原油(コンデンサートを除く)	38.3	GJ/kL	kl	0.0190	0.0190	0.0190	0.0190	10/GJ	2.67	2.67	2.67	2.67	tCO ₂ /kL	
	原油のうちコンデンサート(NGL)	34.8	GJ/kL	kl	0.0183	0.0183	0.0183	0.0183	10/GJ	2.34	2.34	2.34	2.34	tCO ₂ /kL	
	揮発油(ガソリン)	33.4	GJ/kL	kl	0.0187	0.0187	0.0187	0.0187	10/GJ	2.29	2.29	2.29	2.29	tCO ₂ /kL	
	ナフサ	33.3	GJ/kL	kl	0.0186	0.0186	0.0186	0.0186	10/GJ	2.27	2.27	2.27	2.27	tCO ₂ /kL	
	ジェット燃料油	36.3	GJ/kL	kl	0.0186	0.0186	0.0186	0.0186	10/GJ	2.48	2.48	2.48	2.48	tCO ₂ /kL	
	灯油	36.5	GJ/kL	kl	0.0187	0.0187	0.0187	0.0187	10/GJ	2.50	2.50	2.50	2.50	tCO ₂ /kL	
	軽油	38.0	GJ/kL	kl	0.0188	0.0188	0.0188	0.0188	10/GJ	2.62	2.62	2.62	2.62	tCO ₂ /kL	
	A重油	38.9	GJ/kL	kl	0.0193	0.0193	0.0193	0.0193	10/GJ	2.75	2.75	2.75	2.75	tCO ₂ /kL	
	B・C重油	41.8	GJ/kL	kl	0.0202	0.0202	0.0202	0.0202	10/GJ	3.10	3.10	3.10	3.10	tCO ₂ /kL	
	石油アスファルト	40.0	GJ/t	t	0.0204	0.0204	0.0204	0.0204	10/GJ	2.99	2.99	2.99	2.99	tCO ₂ /t	
	石油コークス	34.1	GJ/t	t	0.0245	0.0245	0.0245	0.0245	10/GJ	3.06	3.06	3.06	3.06	tCO ₂ /t	
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	50.1	GJ/t	t	0.0163	0.0163	0.0163	0.0163	10/GJ	2.99	2.99	2.99	2.99	tCO ₂ /t
		石油系炭化水素ガス	46.1	GJ/千m ³	千m ³	0.0144	0.0144	0.0144	0.0144	10/GJ	2.43	2.43	2.43	2.43	tCO ₂ /千m ³
	可燃性天然ガス	54.7	GJ/t	t	0.0139	0.0139	0.0139	0.0139	10/GJ	2.79	2.79	2.79	2.79	tCO ₂ /t	
	石炭	その他可燃性天然ガス	38.4	GJ/千m ³	千m ³	0.0139	0.0139	0.0139	0.0139	10/GJ	1.96	1.96	1.96	1.96	tCO ₂ /千m ³
		輸入原料炭	28.7	GJ/t	t	0.0246	0.0246	0.0246	0.0246	10/GJ	2.59	2.59	2.59	2.59	tCO ₂ /t
		コークス用原料炭	28.9	GJ/t	t	0.0245	0.0245	0.0245	0.0245	10/GJ	2.60	2.60	2.60	2.60	tCO ₂ /t
		吹込用原料炭	28.3	GJ/t	t	0.0251	0.0251	0.0251	0.0251	10/GJ	2.60	2.60	2.60	2.60	tCO ₂ /t
		輸入一般炭	26.1	GJ/t	t	0.0243	0.0243	0.0243	0.0243	10/GJ	2.33	2.33	2.33	2.33	tCO ₂ /t
		国産一般炭	24.2	GJ/t	t	0.0242	0.0242	0.0242	0.0242	10/GJ	2.15	2.15	2.15	2.15	tCO ₂ /t
輸入無煙炭		27.8	GJ/t	t	0.0259	0.0259	0.0259	0.0259	10/GJ	2.64	2.64	2.64	2.64	tCO ₂ /t	
石炭コークス	29.0	GJ/t	t	0.0299	0.0299	0.0299	0.0299	10/GJ	3.18	3.18	3.18	3.18	tCO ₂ /t		
コールタール	37.3	GJ/t	t	0.0209	0.0209	0.0209	0.0209	10/GJ	2.86	2.86	2.86	2.86	tCO ₂ /t		
コークス炉ガス	18.4	GJ/千m ³	千m ³	0.0109	0.0109	0.0109	0.0109	10/GJ	0.74	0.74	0.74	0.74	tCO ₂ /千m ³		
高炉ガス	3.23	GJ/千m ³	千m ³	0.0264	0.0264	0.0264	0.0264	10/GJ	0.31	0.31	0.31	0.31	tCO ₂ /千m ³		
発電用高炉ガス	3.45	GJ/千m ³	千m ³	0.0264	0.0264	0.0264	0.0264	10/GJ	0.33	0.33	0.33	0.33	tCO ₂ /千m ³		

3 2025年度の二酸化炭素排出量等【入力不要】

- ① 入力した燃料の使用量から、「二酸化炭素排出量の合計値」及び「エネルギー消費量の合計値」が自動計算されます。
- ② 「走行距離」を指標とした「エネルギー消費原単位」が自動計算されます。

排出係数等を変更する場合

『係数』シート

『係数』シートは、燃料などの排出係数等を変更する場合や、電気の発熱量を標準設定から変更する場合のみ使用します。

なお、黄色セル、緑色セルのみ変更可能です。

第3章 計画書の作成

『計1』シート

【間違いやすいポイント】
提出日を忘れず入力してください。

細則第37号様式（第2条第48号）
（総括票）

地球温暖化対策計画書

（提出先）
横浜市長

① 事業者ID | 18XXXX

② 2026年 7月 30日

③ 住所 神奈川県横浜市〇〇区××町■-△
氏名 株式会社 横浜
代表取締役社長 横浜 太郎
(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第1項の規定により、次のとおり提出します。

1. 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	株式会社 横浜 代表取締役社長 横浜 太郎		④
主たる事業所の所在地	神奈川県横浜市〇〇区××町■-△		⑤
主たる事業の業種	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）	⑥
	中分類	98 地方公務	

⑦ 該当する事業者の要件

<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則第89条第1項第1号該当事業者
<input type="checkbox"/>	条例施行規則第89条第1項第2号該当事業者
<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則第89条第1項第3号該当事業者
<input type="checkbox"/>	条例第144条の4該当事業者（任意提出事業者）

⑧

原油換算エネルギー使用量	28,212	kl	市内全事業所数	10	事業所
			原油換算エネルギー使用量が500kl以上の事業所数	3	事業所

⑨

自動車の台数	100	台
--------	-----	---

2. 計画期間

計画期間	2026年度～	2027年度
------	---------	--------

3. 温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針

株式会社〇〇グループに関する温室効果ガス排出量のための措置を取りまとめた「株式会社〇〇温暖化対策基本方針」に基づき、温室効果ガス排出削減に取り組んでいる。
計画では、2030年度までに温室効果ガス排出量を2013年度比30%以上削減することを目標に掲げ、運用対策の徹底やLED化の推進、次世代自動車の導入など、全事業所を挙げて取組を推進している。

『計1』シート

黄色セル 記入してください。

緑色セル 事業者 ID に応じて報告書の入力内容を表示しています。

変更がある場合は上書き修正してください。

新規事業者は空欄となりますので入力してください。

- ① **新規事業者は空欄**となります。【**入力不要**】
- ② 電子申請システムで提出する日付を入力してください。【**入力必要**】
- ③ 事業者の名称、代表者氏名等を入力してください。【**入力必要**】
代表者から権限を委任されている者が提出する場合は、委任状を添付した上で、本欄を受任者の住所・氏名等に修正してください。前年度までに委任状を提出しており、代表者及び受任者に変更がない場合は提出不要です。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

- ④ 事業者の名称、代表者氏名等を入力してください。【**入力必要**】
- ⑤ 本社の所在地を入力してください。【**入力必要**】
本社が市外にある場合は、その所在地を入力してください。
- ⑥ 主たる事業の業種をプルダウンリストから選択してください。【**入力必要**】
主たる事業の業種については日本標準産業分類をご参照ください。
- ⑦ 該当する事業者の要件を選択してください。【**入力必要**】
複数要件に該当する場合は、複数選択してください。
※要件の選択により入力が必要となる範囲が変わりますので、必ず選択漏れのないように注意してください
- ⑧ ※**3号該当のみ事業者は入力対象外**です。
「原油換算エネルギー使用量」、「市内全事業所数」、「原油換算エネルギー使用量が500kl以上の事業所数」を入力してください。【**対象がある場合入力**】
- ⑨ 「使用量3シート」から基準年度における自動車の台数が反映されます。
修正が必要な場合は、前年度の3月31日時点において使用している自動車の台数を入力してください。【**自動表示**】

『計1』シート

細則第37号様式（第2条第48号）
（総括票）

事業者ID	18XXXX
-------	--------

地球温暖化対策計画書

2026年 7月 30日

（提出先）
横浜市長

住所 神奈川県横浜市○○区××町■-△

氏名 株式会社 横浜
代表取締役社長 横浜 太郎

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第1項の規定により、次のとおり提出します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	株式会社 横浜 代表取締役社長 横浜 太郎		
主たる事業所の所在地	神奈川県横浜市○○区××町■-△		
主たる事業の業種	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）	
	中分類	98 地方公務	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第2号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則第89条第1項第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 条例第144条の4該当事業者（任意提出事業者）	<input type="checkbox"/> 1・2号	<input type="checkbox"/> 3号事業者
	原油換算エネルギー使用量	23,212 kl	市内全事業所数 10 事業所 原油換算エネルギー使用量が500kl以上の事業所数 3 事業所
	自動車の台数	100 台	

2 計画期間

計画期間	2026年度～2027年度
------	---------------

⑩

⑪

3 温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針

株式会社○○グループに関する温室効果ガス排出量のための措置を取りまとめた「株式会社○○温暖化対策基本方針」に基づき、温室効果ガス排出削減に取り組んでいる。
計画では、2030年度までに温室効果ガス排出量を2013年度比30%以上削減することを目標に掲げ、運用対策の徹底やLED化の推進、次世代自動車の導入など、全事業所を挙げて取組を推進している。

『計1』シート

2 計画期間

- ⑩ なお、「年度」は、4月1日から翌年3月31日までを指します。【入力不要】

3 温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針

- ⑪ 本計画を推進するにあたり、本市における事業活動に伴う温室効果ガスの排出の抑制等に向けた基本的な方針を記入してください。【入力必要】
また、事業者全体として地球温暖化対策に取り組んでいる中での、本計画の位置付け（市内の事業所の取組内容が、全社の取組と同じであるのか、異なる部分があるのかなど）について記入してください。

『計2』シート

4 公表の方法

細則第37号様式（第2条第48号）
（総括票）

①

4. 公表の方法

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	アドレス	http://www.xxxx.co.jp/csr/kankyo.html
<input type="checkbox"/>	窓口で閲覧	閲覧場所	
		所在地	
		閲覧可能時間	
<input type="checkbox"/>	その他		

5の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等(第3号該当事業者)

5の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等(第3号該当事業者)

	特定温室効果ガス排出量				エネルギー消費原単位	
	基礎		調整後			
基準年度 (2025年度)	② 78 (78)	t-CO ₂	③ 78 (73)	t-CO ₂	0.04	kl/ 千km
目標年度 (2027年度)	④ 65	t-CO ₂	⑤ 72	t-CO ₂	0.04	kl/ 千km
削減率	16.7	%	5.3	%	1.3	%

中長期目標	● 有 ○ 無	
目標内容	2030 年度	年度
	30 %削減	%削減
	2013 年度比	年度比

『計2』シート

4 公表の方法

- ① 計画書の公表方法を選択してください。【**入力必要**】
修正が必要な場合は、変更があった項目を修正してください。
広く公表できるよう、ホームページによる公表を推奨します。
窓口での閲覧の場合、所在地は、市内事業所ではない場所(市外の本社等)も可能です。

5の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等(第3号該当事業者)

- ② 特定温室効果ガス排出量 基準年度・基礎 【**入力不要**】
基準年度の値は、「使用量3シート」から反映されます。
基準年度に使用した、すべての自動車のエネルギー使用に係る排出量(電気の場合は通常メニューの基礎排出係数(残差等)を使用)の合計値が表示されます。(なお、下段の()内には、メニュー別の基礎排出係数で計算した排出量が表示されます。)
年度途中で抹消・移転・変更を行った自動車も含めて排出量を算定します。
レンタカー事業者の保有する自動車は、自動車を借り受ける人が燃料補充の上、返還するケース(満タン返し)が多いと想定されます。このように燃料使用量の把握が困難な場合には、走行距離(km)を燃費(km/L)で除した値を燃料使用量として排出量を算定します。
使用量3シートを使用しない場合は、市担当者へ御連絡ください。
- ③ 特定温室効果ガス排出量 基準年度・調整後 【**入力不要**】
基準年度の値は、「使用量3シート」から反映されます。
基準年度における、すべての自動車のエネルギー使用に係る排出量(電気の場合は通常メニューの調整後排出係数(残差等)を使用)の合計値が表示されます。(なお、下段の()内には、メニュー別の調整後排出係数で計算した排出量が表示されます。)
- ④ 特定温室効果ガス排出量 目標年度・基礎 【**入力必要**】
計画期間に実施する排出抑制対策や事業活動の状況、クレジット購入等を勘案し、目標年度(計画期間の最終年度)の基礎排出量を設定してください。
削減率は自動計算されるので入力不要です。
- ⑤ 特定温室効果ガス排出量 目標年度・調整後 【**入力必要**】
計画期間に実施する排出抑制対策や事業活動の状況、クレジット購入等を勘案し、目標年度(計画期間の最終年度)の調整後排出量を設定してください。
削減率は自動計算されるので入力不要です。

『計2』シート

5の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等(第3号該当事業者)

		特定温室効果ガス排出量				エネルギー消費原単位	
		基礎		調整後			
基準年度 (2025年度)		78 (78)	t-CO ₂	78 (73)	t-CO ₂	0.04	kl/①千km
目標年度 (2027年度)		85	t-CO ₂	72	t-CO ₂	0.04	kl/②千km
削減率		16.7	%	5.3	%	1.3	③%
中長期目標 ④		<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無					
目標内容 ⑤		2030	年度		年度		年度
		30	%削減		%削減		%削減
		2013	年度比		年度比		年度比

『計 2』シート

5の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等(第3号該当事業者)

- ① エネルギー消費原単位・基準年度 **【入力不要】**
基準年度の値は、「使用量 3 シート」から反映されます。
- ② エネルギー消費原単位・目標年度 **【入力必要】**
計画期間に実施する排出抑制対策や事業活動の状況を勘案し、目標年度(計画期間の最終年度)のエネルギー消費原単位を設定してください。
原単位の目標設定が行えるのは、計画書のみです。計画期間の途中で設定することはできません。
- ③ エネルギー消費原単位・削減率 **【入力不要】**
エネルギー消費原単位の削減率が、以下の通り自動計算されます。
削減率 = (基準年度の原単位 - 目標年度の原単位) / 基準年度の原単位 × 100
なお、計算途中は各項目の端数処理後の数値で計算し、算出結果の小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの値が表示されます。
- ④ 中長期目標の有無を選択してください。 **【入力必要】**
- ⑤ ④で「有」を選択した場合は、中長期目標の「目標年度」、「目標削減率」、「基準年度」を入力してください。

『計3』シート

6 クレジット等に関する取組状況及び計画

細則第37号様式（第2条第48号）
（総括票）

6 クレジット等に関する取組状況及び計画 ①

計画期間での導入予定 有 無

番号	クレジット等の名称	特定温室効果ガス削減相当量 [t-CO ₂]	オフセット対象範囲	換算電力量	再エネ指定
1	IT非化石証書	22	横浜市内事業所	50000kWh	<input type="radio"/>
2	(予定) グリーン熱証書	50	横浜市内事業所		
3					
4	②	③	④	⑤	⑥
5					

『計3』シート

6 クレジット等に関する取組状況及び計画

- ① 計画期間におけるクレジット等の導入予定の有無を選択してください。

【入力必要】

以下の項目は、具体的な計画がある場合に記載してください。**【入力任意】**

- ② 計画期間に取得する予定のクレジット等をプルダウンから選択してください。プルダウンで選択できるクレジットは、次の表の通りです。表中にないクレジットを記載する場合は、市へ削減相当量の換算方法を御相談ください。

クレジット等の名称	
J-クレジット_再エネ電力由来	非 FIT 非化石証書(再エネ指定あり)
J-クレジット_再エネ熱由来	非 FIT 非化石証書(再エネ指定なし)
J-クレジット_その他	(予定)J-クレジット
グリーン電力証書	(予定)グリーン電力証書
グリーン熱証書	(予定)グリーン熱証書
FIT 非化石証書	(予定)FIT 非化石証書

- ② 取得する予定のクレジット等の削減量を記入してください。
②で非化石証書等の電力量に関するクレジットを選択した場合は、以下の計算式により特定温室効果ガス削減相当量へ変換して記入してください。

電力量に関するクレジットによる「特定温室効果ガス削減相当量」
＝換算電力量(kWh)×全国平均係数(t-CO₂/kWh)×補正率

全国平均係数(t-CO ₂ /kWh)	0.000423
FIT補正率	1.01
非FIT補正率	1.01

- ④ オフセットの対象範囲を、市内の事業所と特定できるように入力してください
- ⑤ ①で電力量に関するクレジットを選択した場合は、クレジットの換算電力量を入力してください。
- ⑥ ⑤で入力した換算電力量の単位をプルダウンリストから選択してください。プルダウンリストで選択できる単位の種類は、「kWh」、「千 kWh」です。

『計3』シート

7 設備の新設、更新等の計画

7 設備の新設、更新等の計画	
①	計画期間での実施予定 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
再エネ設備	太陽光発電 2025年度完成予定の△△事業所において、約100kWの太陽光発電設備の導入を予定している。
	② ③
④	計画期間での実施予定 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
上記以外	2025年度完成予定の△△事業所において、建物の断熱性を高め空調負荷を削減するとともに、高効率機器・システムを導入し、省エネルギーで快適な執務空間を目指す。
	⑤

8 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の導入状況及び計画

8 次世代自動車 (EV、PHV、FCV) 及びハイブリッド自動車 (HV) の導入状況及び計画					
計画期間での導入予定		<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		⑥	
次世代自動車の種別	電気自動車	プラグイン ハイブリッド 自動車	燃料電池自動車	ハイブリッド 自動車	合計
現保有台数	30	15	15	0	⑦ 60
導 計 入 画 予 定 期 間 で の 台 数	事業用	0	3	1	5
	自家用	0	0	0	⑧ 0
	軽自動車	5	0	0	5

【間違いやすいポイント】
保有、導入予定がない場合は空欄にせず、「0(ゼロ)」を入力してください。

- ⑧ 計画期間での次世代自動車・ハイブリッド自動車の導入予定台数は、以下の区分で入力してください。
- ・事業用自動車：トラックやタクシー、路線バスなどの運賃や報酬を受け取り運搬する車両
ナンバープレートに緑地に白文字で表示
 - ・自家用自動車：自社所有の貨物等を運搬する車両
ナンバープレートに白地に緑文字で表示
 - ・軽自動車につきましては、事業用、自家用の合計台数を記載してください。

『計3』シート

7 設備の新設、更新等の計画

- ① 再生可能エネルギー利用設備の新設、更新等の計画について、計画期間での実施予定の有無を選択してください。【**入力必要**】
- ② ①で「有」を選択した場合は、導入予定の再エネ設備をプルダウンリストから選択してください。
プルダウンリストで選択できる設備機器の種類は、以下の表の通りです。

再生可能エネルギー利用設備機器の種類	
太陽光発電	地熱発電
風力発電	太陽熱利用
バイオマス	地中熱利用
水力発電	

- ③ ②で選択した再エネ設備について、具体的な計画を記載してください。
- ④ 再エネ設備以外の設備の新設、更新等について、計画期間中の実施有無を選択してください。【**入力必要**】
- ⑤ ④で「有」を選択した場合は、導入予定の設備について具体的な計画を記載してください。

8 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の導入状況及び計画

【**入力必要**】

- ⑥ 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)について、計画期間での導入予定の有無を選択してください。
- ⑦ 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の、前年度3月31日時点で保有している台数を、自動車種別に入力してください。
保有していない場合は、「0(ゼロ)」を入力してください
- ⑧ 次世代自動車(EV、PHV、FCV)及びハイブリッド自動車(HV)の、計画期間中に導入予定の台数を、自動車種別に入力してください。
導入予定がない場合は、「0(ゼロ)」を入力してください。

『計 4-2』シート

9の3 基本対策の実施状況及び計画(第3号該当事業者)

基本対策		実施状況及び計画(計画期間内)				
1 推進体制の整備		<input checked="" type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 実施予定有	<input type="radio"/> 実施予定無	<input type="radio"/> 非該当
2 自動車の適正な使用管理		<input checked="" type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 実施予定有	<input type="radio"/> 実施予定無	<input type="radio"/> 非該当
3 エネルギー使用量等に関するデータの管理		<input type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input type="radio"/> 実施予定有	<input checked="" type="radio"/> 実施予定無	<input type="radio"/> 非該当
4 エコドライブ推進体制の整備		<input type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input checked="" type="radio"/> 実施予定有	<input type="radio"/> 実施予定無	<input type="radio"/> 非該当
5 自動車の適正な維持管理		<input type="radio"/> 実施済	<input type="radio"/> 一部実施済	<input checked="" type="radio"/> 実施予定有	<input type="radio"/> 実施予定無	<input type="radio"/> 非該当

9の4 重点対策の実施状況及び計画(第3号該当事業者)

①

重点対策	対策の内容	実施状況及び計画(計画期間内)	備考
1 脱炭素経営に関する取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> ① SBT ② RE100 ③ RE Action ④ GXリーグへの参画 ⑤ グリーン経営認証 ⑥ その他横浜商が認めた脱炭素経営に関する取組 上記の①から⑥のいずれかの取組に参画等している。	<input checked="" type="checkbox"/> SBT <input type="checkbox"/> RE100 <input type="checkbox"/> RE Action <input type="checkbox"/> GXリーグ <input type="checkbox"/> グリーン経営認証 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 実施予定有 <input type="checkbox"/> 実施予定無	
2 サプライチェーン排出量の削減計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ① サプライチェーン排出量を算定している。 ② サプライチェーン排出量の削減目標を設定している。 ③ サプライチェーン排出量の削減目標を達成するための施策を立案している。 	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 一部実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施予定有 <input type="checkbox"/> 実施予定無	
3 脱炭素に向けた調達方針の策定	<ul style="list-style-type: none"> ① サプライヤーに対する調達方針を策定し、公表している。 ② サプライヤーに対する調達方針に沿って調達している。 	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 一部実施済 <input type="checkbox"/> 実施予定有 <input type="checkbox"/> 実施予定無	
4 環境配慮製品・サービス等の開発・製造及び提供	<ul style="list-style-type: none"> ① 地球温暖化対策に寄与する環境配慮製品・サービス等の製造・提供等を行っている。 ② ①の製品・サービス等が地球温暖化対策に貢献できる二酸化炭素量を推計している。 ③ 地球温暖化対策に寄与する環境配慮製品等を研究・開発する事業に参画している。 	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 一部実施済 <input type="checkbox"/> 実施予定有 <input checked="" type="checkbox"/> 実施予定無	
5 エネルギー消費効率の高い建築物の導入	<ul style="list-style-type: none"> ① ZEBに適合した建築物、またはZEBに準拠した建築物を保有している。 ② ZEBに適合した建築物、またはZEBに準拠した建築物にテナントとして入居している。 	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 一部実施済 <input type="checkbox"/> 実施予定有 <input checked="" type="checkbox"/> 実施予定無	
6 サステナブルファイナンスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ① サステナビリティ・リンク・ローン又はグリーンローンの融資を受けている。 ② サステナビリティ・リンク・ボンド又はグリーンボンドの債券を発行している。 	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 一部実施済 <input type="checkbox"/> 実施予定有 <input checked="" type="checkbox"/> 実施予定無	
7 LED照明の導入	<ul style="list-style-type: none"> ① 事業所に設置する照明器具をLED照明としている。 	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 一部実施済 <input type="checkbox"/> 実施予定有 <input type="checkbox"/> 実施予定無	

『計 4-2』シート

9の3 基本対策の実施状況及び計画(第3号該当事業者) **【入力必要】**

9の4 重点対策の実施状況及び計画(第3号該当事業者) **【入力必要】**

① 対策ごとに、基準年度の実施状況及び計画期間中の実施計画を選択してください。

9の3 基本対策につきましては、各対策の管理標準の設定・運用の実施状況について選択してください。

9の4 重点対策につきましては、対策の内容についての実施状況を選択いただき、補足事項などございましたら備考欄に記入してください。

「1 脱炭素経営に関する取組の実施」でその他を選択した場合は、備考欄に参画等をしている対策について記載してください。

状況の判断については、別途定める解説資料をご参照ください。

- ・基本対策解説 [「基本対策について」](#)
- ・重点対策解説 [「新たな重点対策について」](#)

※重点対策に関する根拠資料の提出は不要です。

第4章 提出書の作成

『提』シート

細則第37号様式の2（第2条第48号の2）

地球温暖化対策計画書提出書兼
地球温暖化対策実施状況報告書提出書

（提出先）2026年 7月 30日
横浜市市長

住所 神奈川県横浜市〇〇区××町■-△
株式会社 横浜
氏名
代表取締役社長 横浜 太郎
(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第144条第1項及び第2項の規定により、
別添の通り地球温暖化対策計画書兼地球温暖化対策実施状況報告書を提出します。

第5章 評価の確認

『評価』シート

評価結果

1 基礎情報

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">事業者名</td> <td>株式会社 横浜</td> </tr> <tr> <td>評価対象</td> <td>計画書</td> </tr> </table>	事業者名	株式会社 横浜	評価対象	計画書	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>部門</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1、2号</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>業務部門</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3号</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>運輸部門</td> </tr> </tbody> </table>	区分		部門	1、2号	○	業務部門	3号	○	運輸部門
事業者名	株式会社 横浜													
評価対象	計画書													
区分		部門												
1、2号	○	業務部門												
3号	○	運輸部門												

2 評価結果

【1、2号】

項目		第一年度	第二年度	第三年度	目標年度 (2027年度)
計画書	削減目標の設定状況	基礎			B
		調整後			B
	基本対策の実施状況及び計画	-			A
	重点対策の実施状況及び計画	-			A+
報告書	排出量削減率	基礎			

『提』シート

計画書等に入力いただいた情報から自動作成されます。記入の必要はありません。

【入力不要】

『評価』シート

入力いただいた報告書、計画書の評価を確認することができます。【入力不要】

第6章 作成したデータ等の提出

作成したデータ等を、横浜市電子申請・届出システムで提出してください。

以下の資料が対象となる場合には、添付資料として提出してください

- ・クレジット等の認証削減量の写し
- ・委任状(代表者と提出者が異なる場合※)

※前年度までに委任状を提出済で、代表者及び受任者に変更がない場合は提出不要

【提出先】

横浜市電子申請・届出システム

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/f8fd1056-e75a-489c-850a-d21bb7c278ec/start>



※電子申請システムで提出できない場合は個別にご相談ください。

連絡先: 横浜市 脱炭素・GREEN×EXPO推進局 脱炭素マネジメント課 計画書制度担当

電話番号: 045-671-4224

電子メール: da-keikakusho@city.yokohama.lg.jp

副本が必要な方は、所定額の切手を貼った返信用封筒を同封の上、紙媒体を窓口へ持参もしくは郵送してください。

非公表事項に関する取扱い（事前にご相談ください）

- 計画書等の記載内容で、公表することにより、事業者の競争上の地位その他正当な利益を害するおそれのある事項が含まれる場合については、非公表とする旨を市に請求することができます。
- その請求に関して市が妥当と認めた場合に、当該事項を非公表とします。